

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	出雲市内の保育園で起きた腸管出血性大腸菌 0157:H7 感染症のアウトブレイクに関する臨床研究
意義・目的	腸管出血性大腸菌感染症は、腹痛や血便だけでなく、溶血性尿毒症症候群を引き起こす重要な細菌感染症です。世界中で集団感染が報告されており、年々増加しています。 2023年6月に島根県出雲市の保育園で腸管出血性大腸菌 0157:H7 によるアウトブレイクが発生し、多くの感染者が島根県立中央病院に入院され、数名が溶血性尿毒症症候群を発症されました。今回、保育園内や家族内への感染拡大、臨床症状の違い、初期治療や抗菌薬投与の有無を明らかにすることで、感染症の早期発見や治療の有効性、感染拡大防止に繋げることを目的とします。
研究期間	当院病院長許可日（利用開始日）2024年2月5日～2024年3月31日
対象患者	2023年6月1日～2023年7月31日に腸管出血性大腸菌の感染が確認された出雲市内の保育園児
研究内容	島根県立中央病院小児科に腸管出血性大腸菌感染症で入院された患者さんと、入院されなかった患者さんに関しては出雲保健所が公表された情報を基に、感染経路やその後の感染拡大、溶血性尿毒症症候群のリスク（臨床症状、検査、治療や抗菌薬投与など）を明らかにします。
利用する試料・情報の項目	識別コード、性別、年齢、入院・外来の有無、合併症、既往歴、現病歴、発症日、臨床症状（発熱、腹痛、下痢、血便の有無）、抗菌薬・輸液の有無、家族内伝播の有無 等
試料・情報の他機関への提供有無	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 海外） 提供方法： <input checked="" type="checkbox"/> なし
研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 平出 智裕 共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし

	<p>試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 出雲保健所 所長 村下 伯</p>
<p>本研究に関する 当院の連絡先</p>	<p>研究責任者： 島根県立中央病院 小児科 平出 智裕 電話：0853-22-5111（代表）</p> <p>事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）</p>
<p>個人情報の保護</p>	<p>当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL：https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy</p>
<p>結果の公表</p>	<p>小児科学会・感染症学会等で公表し、論文化して報告予定です。</p>
<p>備考</p>	